

らんぷいあんぷらざニュース

2016年 冬号



2016年12月24日発行
〒212-0012
川崎市幸区中幸町3-32-7 光和ビル5F
NPO法人らんぷいあんぷらざ
Tel: 044-201-9086
E-mail: info@npo-lenfantplaza.com
URL: <http://www.npo-lenfantplaza.com>
発行責任者 安藤 壽子
松原 均

いあんらんぷらざの看板ができました

NPO法人らんぷいあんぷらざの看板がようやく出来上りました。以前から初めていらっしゃる方から「らんぷいあんぷらざの場所が分からない」と言われていました。皆様のご要望にお応えできることを嬉しく思っています。

写真のように道路からもはっきり分かるようにビルの最上段に看板を設置しました。

緑色の地に白色で『らんぷいあんぷらざ』と書かれた看板は、何となく心和むように思います。(自画自賛ですが) これを目印に皆さんが来やすくなることを願っています。



リテラシー／読み書き指導

リテラシー／読み書き指導では、小集団(2~4名)によるグループ学習を通して、①自分に合った学習方法を身につけ、②学習(読み書き)への自信を取り戻すとともに、③仲間とともに学び合うことの喜びを感じ、進んで学習に取り組む態度を育てること、を目的にしています。(らんぷいあんホームページより)

現在、お子様の年齢や発達特性によって、ジュニア(低学年)、ミドル(中学年)、シニア(高学年)別のグループ指導の他、個別指導やペア指導も行っています。曜日(担当)は、火曜日(安藤)、土曜日(安里、古山、玉井、加藤)、スーパーバイザーとして大石敬子先生、原恵子先生(言語聴覚士)のご支援を得ています。

【リテラシージュニア、ミドルグループ】

読みがたどたどしかったり、漢字や文字がなかなか覚えられなかったり、作文が苦手な子どもたちが学んでいます。簡単な文字、単語、短文の音読から、長い文を読んで内容を理解したり、漢字や熟語を使って作文をしたり、お子様の実態に合わせた指導を行っています。

【個別指導】

読み書きがスムーズにできるための語彙や文字の認識ができる視機能運動など、一人一人の教育的ニーズに合わせて多角的な指導を進めています。

【シニア・ペア指導】

5年生、6年生の2人が仲良く学んでいます。読み書きへの興味関心と意欲を引き出すよう配慮しながら、基本的な漢字の読み書き、教科学習に必要な語彙の習得、該当学年レベルの文章を読みやすく書き直したテキストを使っての読解などを指導しています。将来を見通して、iPadを使っての情報検索やプレゼンテーション作成なども行っています。

来年度より、ことばの遅れや吃音・言語指導なども計画中です。

ことばは、目、耳を通し、様々な出会いや経験から身につけます。人とのやり取りや、生活に必要な語彙・知識を、基本的な体の動きから総合的に指導していきます。ゲームや楽しい教材を使い、その子にあった方法と速さで、学習理解の基盤を作ります。ご家庭でできることについてのアドバイスも行います。

発音は、口の筋肉と舌の正しい使い方を習得し改善します。また、ことばや音が突っかかりたり繰り返したりなど、話しにくさを持ったお子さんの指導では、個々の特性や心情に合わせて精神面の対処から楽な話し方や本読みの練習をしていきます。ゲームや遊びを通して、喉、舌、口のまわりの筋肉の緩和と、ストレスを取り除きリラックスし、話すことに自信がつくことを目指します。



造形クラス

造形グループは、小学生から高校生までの子どもたちと、3つのグループにわかれて活動しています。毎月1回、土曜日に指導があります。身近な紙コップを何千個も使って造形物を作ったり、形も大きさも様々に異なる木材の破片を組み合わせデザインやバランスを楽しんだり、絵具を混ぜたり水に浮かべたりして偶然できる模様や色に興じたりと、毎回アート活動を楽し



んでいます。

らんぷあんぷらざの造形で行う制作には、いつも“正解”がありません。上手も下手もありません。アート活動を通じてありのままに感じる、「うれしい、楽しい、悔しい、苦しい」など、どんな気持ちでも、自分の気持ちとその表現とを大切にしています。

そうすると、お友だちの気持ちも大切にできるようになります。自分とは違う気持ちや視点を持っていることに自然と気がつきます。自分ではうまく作れなかったと思った作品でも、お友だちに「ここが丁寧に作ってあってすごいね！」と褒められ、「うわぁ！きれい！」と感動されることがあります。そのうちに、自分以外の作品にも自然と興味をわいて、だんだん子どもたち同士で積極的に声をかけあうようになっていくのです。その様子には、いつも指導スタッフが驚かされます。お互いに認め合う生身の体験がそこにはあると思います。



たくさんの道具が必要になるときもありますが、そんなときは、ホワイトボードを見て、自分の目で何度も確認しながら準備する物をそろえます。作品を作るのが好き、造形が楽しい！という気持ちが根底にあるため、整理整頓することにも自然と一生懸命になりますね。

作品が思い通りに作れなかったり、時間切れになったりして、悔しい思いをする場面もたくさんあります。これは、葛藤し、感情と向き合い、気持ちの適切な表現方法を覚えていく大切なプロセスです。悔しい気持ちを認め、子どもたちの溢れ出る想いを聴いて受け止めながら、一方で思うように作品を作るためのアドバイスをし、またもう一方で、怒ったときに言葉で表現できるよう根気よく導いていきます。これは、実際の社会生活でも使えるライフスキルの獲得につながっていると思います。

これからも楽しく活動をしていきたいと思います！

コミュニケーションを育む音楽療法



音楽療法～ミュージックセラピーの紹介

現在、音楽療法には、年中さんから小学校3年生までの4人の方が通っています。それぞれ個別で行われており、毎回その時のお子さんの気分や体調によって活動も変わってきます。

こちらが用意した活動を予定通り出来るときもあれば、「今日はこの楽器がやりたい」となると、ずっとその楽器とピアノで音を鳴らし続けることもあります。

音楽療法って何するの？と、聞かれることがありますが、大きなジャンベ、コンガを好きなように鳴らしたり、リトミック風に音楽を聴いて体を動かしたり、合奏のようにベル、トーンチャイム、たいこなどいろいろな楽器を使って合わせたりします。

言葉でうまく表現できなくても、楽器を使って自分を表現することができます。

音を聴いて体を動かすことで気分転換ができます。

聴こう、とする気持ちをつくることができます。

合奏することで、人の動きを見たり、合わせたり、コミュニケーション力を育てることができます。

できることをたくさん経験しながら**感じる心**を大切にしています。

たくさんの**感じる心**（きれいな音だな、いいな、おもしろいな、できたよ、やりたい、などなど）がその人の豊かな感性を育て、生きる原動力を作ります。

音楽療法は、こんな形で子供たちの成長のお手伝いをしています。



【お知らせ】

- 榎田先生（造形指導）が雑誌『ヴァンサンカン』（婦人画報）に3年間、連続で掲載！

福島県でNPO法人を立ち上げ、福島県で災害に遭った子供の支援活動を続けていることが取り上げられています。是非、ご一読ください。

• 書 架

『らんぷあんぷらざ』の待合室に設置してあった書架の傷みがひどくなってきたため、新しい書架に変えることを考えていました。その折に、保護者の方のご厚意でご寄付をいただきました。頂いたご寄付を書架の購入に使わせて頂きますので、皆様にお知らせいたします。保護者の皆様方のご厚意にいつも感謝しております。



【今後の予定】

- 読書教室：1月29日（日）、2月19日（日） 無料です。

1対1で読み方を指導します。奮ってご参加ください。

来年度の新設講座について

- 幼児～高校生対象の『ことばの遅れ・吃音指導』を開設します。
- 小学生対象の『コミュニケーション能力を育む音楽療法』を開設します。
- 中学生対象の『社会生活に必要な技能・会話のトレーニング（SST）』を開設します。
- 中学生対象の『パソコン教室』を開設します。

らんぷあんスタッフか指導担当者に詳細を聞いていただき、申し込んでください。